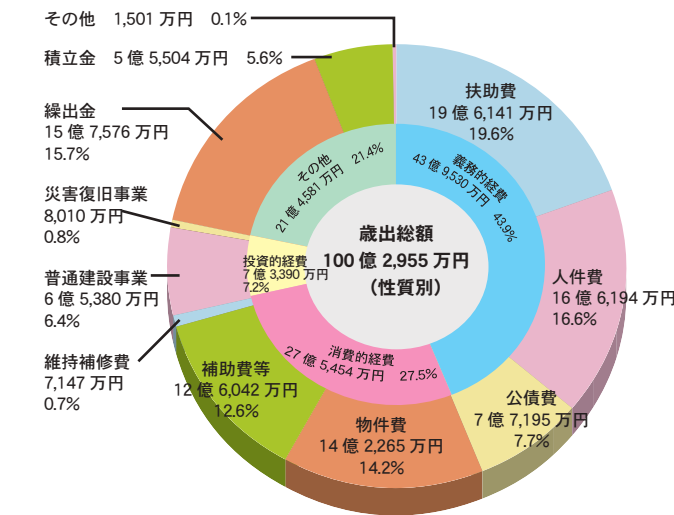
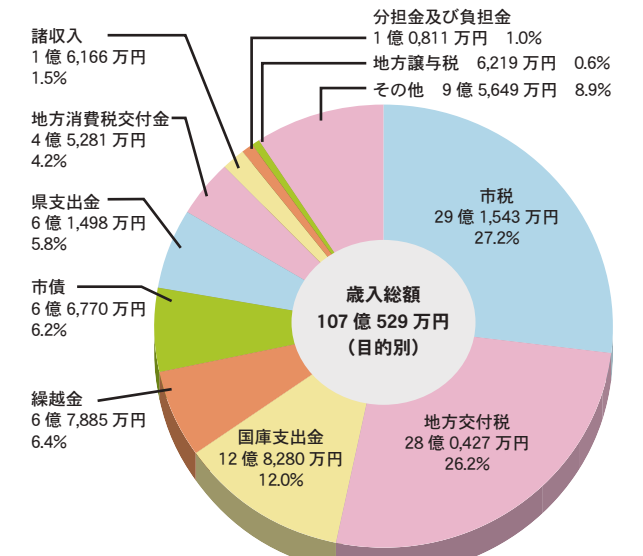
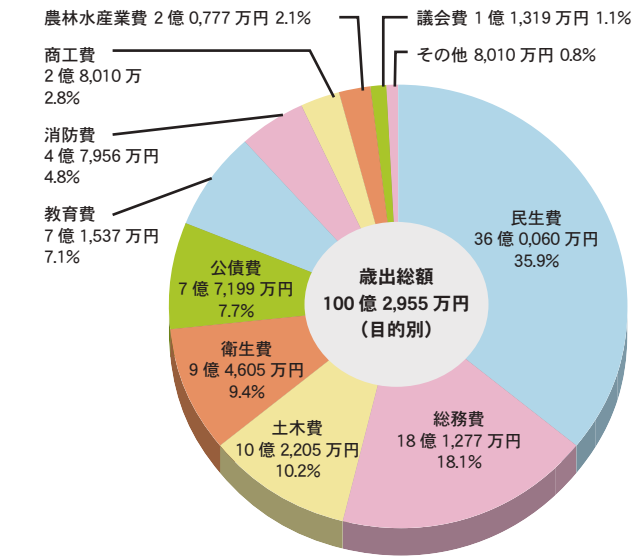
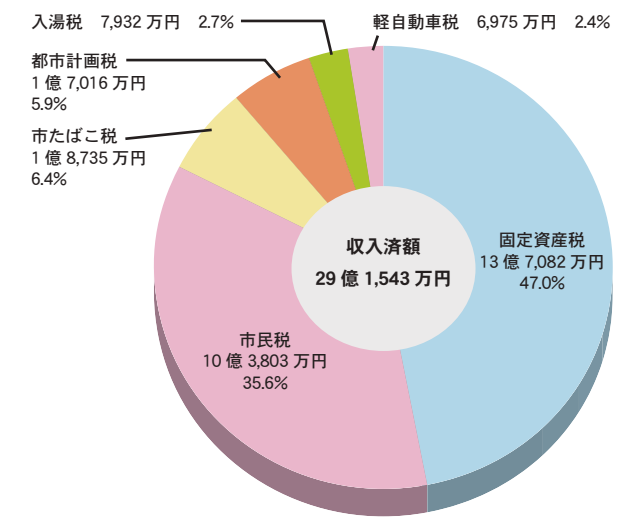


～下田市の財政事情を公表します～

●平成 29 年度一般会計の決算状況



●平成 29 年度市税収入の内訳



入湯税充当事業区分	事業費	入湯税充当額	充当割合
環境衛生施設	7,623 万 3 千円	2,833 万 6 千円	39.9%
温泉施設	11 万 9 千円	4 万 9 千円	41.2%
消防施設	4,630 万 1 千円	1,834 万 6 千円	39.9%
観光振興 ※観光施設整備含む	1 億 2,790 万円	3,258 万 9 千円	39.9%
入湯税充当事業計	2 億 5,055 万 3 千円	7,932 万円	39.9%

市税の内、目的税である都市計画税、入湯税及び、平成 26 年 4 月 1 日からの消費税率引き上げに伴う地方消費税交付金(社会保障財源化)の使途について、お知らせします。

○入湯税
入湯税は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設や消防活動並びに観光の振興(観光施設の整備を含む。)に要する費用に充てるための税です。

平成 29 年度の収入額は主に観光振興に充てられています。

都市計画税充当事業区分	事業費	都市計画税充当額	充当割合	
都市計画事業	都市計画事業	3,142 万 9 千円	612 万 9 千円	100.0%
	街路事業	181 万 4 千円	181 万 4 千円	100.0%
	公園事業	537 万 9 千円	537 万 9 千円	100.0%
	下水道事業(繰出金)	6,074 万 7 千円	1,950 万 1 千円	32.1%
その他	都市計画事業地方債償還額	4 億 2,780 万 5 千円	1 億 3,733 万 4 千円	32.1%
都市計画税充当事業計	5 億 2,717 万 4 千円	1 億 7,015 万 7 千円	33.9%	

○都市計画税
都市計画税は、都市計画事業・土地区画整理事業に要する費用に充てるための税です。

平成 29 年度は、主に街路や公園、下水道の整備、これらの事業を行うために借りた市債の償還に充てられています。

○地方消費税交付金
消費税が平成 26 年 4 月 1 日に 5%より 8%に 3%引き上げられたことに伴う、地方消費税交付金の増額分については、社会保障施策(社会福祉・社会保険・保健衛生)に要する経費の財源に充てることと

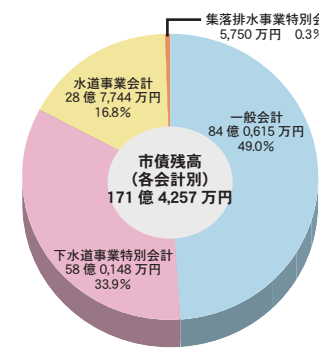
都市計画税充当事業区分	事業費	都市計画税充当額	充当割合	
都市計画事業	3,142 万 9 千円	612 万 9 千円	100.0%	
街路事業	181 万 4 千円	181 万 4 千円	100.0%	
公園事業	537 万 9 千円	537 万 9 千円	100.0%	
下水道事業(繰出金)	6,074 万 7 千円	1,950 万 1 千円	32.1%	
その他	都市計画事業地方債償還額	4 億 2,780 万 5 千円	1 億 3,733 万 4 千円	32.1%
都市計画税充当事業計	5 億 2,717 万 4 千円	1 億 7,015 万 7 千円	33.9%	

○都市計画税
都市計画税は、都市計画事業・土地区画整理事業に要する費用に充てるための税です。

平成 29 年度は、主に街路や公園、下水道の整備、これらの事業を行うために借りた市債の償還に充てられています。

特別会計名	予算額	収入済額	支出済額
稲梓財産区特別会計	215 万円	276 万円	87 万円
下田駅前広場整備事業特別会計	872 万円	902 万円	692 万円
公共用地取得特別会計	319 万円	318 万円	318 万円
国民健康保険事業特別会計	41 億 3,043 万円	41 億 6,494 万円	39 億 3,150 万円
介護保険特別会計	28 億 3,033 万円	26 億 0,327 万円	25 億 0,010 万円
後期高齢者医療特別会計	3 億 3,829 万円	3 億 3,808 万円	3 億 3,418 万円
集落排水事業特別会計	4,402 万円	4,392 万円	4,128 万円
下水道事業特別会計	11 億 9,082 万円	11 億 5,348 万円	11 億 0,898 万円

○市債を市民一人に換算
一人あたり 78 万 1,445 円 ※前年に比べ、1,581 円増加しました。



平成 28 年度末に比べて約 3 億 6 千万円減少しました。

収益的収支(税込)			
項目	収入済額	項目	支出済額
収入合計	7 億 1,051 万円	支出合計	6 億 0,478 万円
営業収益	6 億 7,688 万円	営業費用	5 億 1,791 万円
営業外収益	3,363 万円	営業外費用	8,687 万円
特別利益	0 円	特別損失	0 円

平成 29 年度下田市水道事業会計は、1 億 573 万円の赤字となり、当期純利益(税抜)は、8,783 万円となりました。

資本的収支(税込)			
項目	収入済額	項目	支出済額
収入合計	1 億 7,849 万円	支出合計	4 億 9,275 万円
企業債	1 億 5,950 万円	建設改良費	2 億 4,476 万円
出資金	100 万円	企業債償還金	2 億 4,629 万円
負担金-その他	1,799 万円	その他	170 万円

収入が不足する 3 億 1,426 万円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,721 万円、当年度損益勘定留保資金 2 億 2,947 万円、過年度分損益勘定留保資金 2,299 万円、減債積立金 4,459 万円等で補てんしました。

●人口と世帯数・市有財産の状況

人口と世帯数	市有財産
人口 21,937 人	土地 3,892,670.91 m ²
(男 10,556 人)	建物 88,086 m ²
(女 11,381 人)	有価証券 120 万円
	出資による権利 9 億 8,442 万円
世帯 10,869 世帯	基金 23 億 4,102 万円

【平成 30 年 3 月 31 日現在】

市民の皆さまに市の財政状況をお知らせするため、毎年 6 月と 12 月に財政事情の公表をしています。

これは、皆さまの税金や国、県からの交付金などのように使われているかを示す、下田市の家計簿と呼べるものです。

平成 29 年度は、歳入が約 107 億 5 千万円、歳出が約 100 億 3 千万円の決算となりました。繰越財源を除いた実質収支は約 6 億 6 千万円となり、実質収支から前年度繰越金を差し引き、財政調整基金の積立・取崩を加味した実質単年度収支では約 8 千 7 百万円の赤字となりました。

平成 29 年度決算

「下田市過疎地域自立促進計画」を策定し、地域の自立促進に向けた総合的な事業展開と、各種支援制度の活用を図りました。

○観光振興・経済活性化対策
観光を全ての地域産業の魅力づくりと位置づけ、「美しい里山づくり」、「世界一の海づくり」、「美味しいまちづくり」といったプロジェクトの推進を行い、地域おこし協力隊を活用し、オリーブのまちづくり事業や下田・南伊豆がんぱる事業、下田ブランド策定事業等を実施しました。

○防災対策
新庁舎建設基本計画策定、宮渡橋架替工事等を進めたほか、折戸及び敷根地区避難路の測量設計、避難場所案内表示電柱巻き付け看板設置(197 枚)等を実施しました。

●市税の負担状況

市税項目	1 人あたり	1 世帯あたり
市民税	4 万 7,319 円	9 万 5,504 円
固定資産税	6 万 2,489 円	12 万 6,122 円
軽自動車税	3,179 円	6,417 円
市たばこ税	8,540 円	1 万 7,238 円
入湯税	3,616 円	7,298 円
都市計画税等	7,757 円	1 万 5,655 円
合計	13 万 2,900 円	26 万 8,234 円

○人口減対策
「下田市過疎地域自立促進計画」を策定し、地域の自立促進に向けた総合的な事業展開と、各種支援制度の活用を図りました。

○観光振興・経済活性化対策
観光を全ての地域産業の魅力づくりと位置づけ、「美しい里山づくり」、「世界一の海づくり」、「美味しいまちづくり」といったプロジェクトの推進を行い、地域おこし協力隊を活用し、オリーブのまちづくり事業や下田・南伊豆がんぱる事業、下田ブランド策定事業等を実施しました。

○防災対策
新庁舎建設基本計画策定、宮渡橋架替工事等を進めたほか、折戸及び敷根地区避難路の測量設計、避難場所案内表示電柱巻き付け看板設置(197 枚)等を実施しました。